NPO 法人東京ＹＷＣＡ福祉会 通信

20 号

2026 年 8 月

特定非営利活動法人東京ＹＷＣＡ福祉会
<事務局>〒174-0043　板橋区坂下 1-34-25　公益財団法人東京ＹＷＣＡ
板橋センター内　　TEL03-5914-1854 FAX03-5914-1852
URL https://ywca-fukushikai.tokyo/

Y's ホーム ハイホー 共同生活援助（グループホーム） 10 周年特集号



身体障がい、達障がい、知的障がいのある男性７名が生活している
Y's ホーム ハイホーは、2026 年２月１日に 10 周年を迎えました。
10 周年を記念して、利用者の皆さんと職員に文章や絵を寄せてもらいました。
（掲載は五十音順）

利用者の皆さんの声

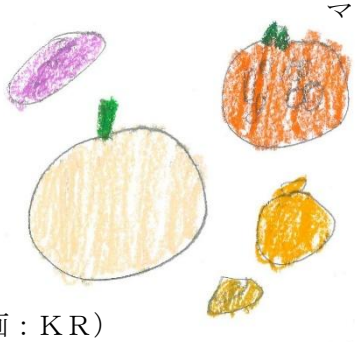
私は、10 年間、暮らしてよかったと思います。
10 年間、ハイホーで、いろいろなイベントに参加しました。
今は、仕事で、ゴミ回収 会議室メンテナンスと、習い事は乗馬と、ピアノをやっています。
クリスマス会は、サンタの格好をしてプレゼントを配りました。
また新しい 10 年が始まりますので、今後もよろしくお願いします。
（ＡＳ）



（画：ＩＴ）



「僕とハイホーの 10 年間の軌跡」
皆さん、こんばんは。ＯＹです。ハイホーが開設 10 周年ということでおめでとうございます。
ハイホーとの出会いは、約 20 年前にハイホーの母体である東京 YWCA の土曜日に活動をしている「シマウマくらぶ」に参加していたことから、関係が始まりました。シマウマくらぶでは、手遊びや歌や運動をしたりしていました。ハイホーの利用者のみんなとは、数人は、昔から知っている仲間でした。ハイホーの利用者の説明会の際にシマウマくらぶの仲間達に再会して、いろんな面白い事・大変な事は、あるけどハイホーって楽しい場所にしたいと僕は、感じていました。
福祉園・ハイホーの利用者で一緒のＦさんには、「いろんな場所で様々なことあるけど、その場所に合わせた言葉・対応していけば、周りの人は、必ず見てくれている。」とアドバイスを頂きました。
すごく、僕は、感謝しています。
最後になりますが、これからのハイホーの 10 年も楽しく明るい 10 年でありますように。（ＯＹ）



（画：ＫＲ）









デリバリーを利用して寿司パーティー。
メニュー、日にち、準備の分担をミーティングで決めて行っています。

「10 年間で成長」

ハイホーに入って 10 年がたちました。安心して、快適に生活ができています。

仲間たちもよいメンバーが揃っています。仲良くなって、ときどき部屋に行っておしゃべりをする人もいます。

職員もみんないい人で、親切で、とてもよいグループホームに入れたと思っています。

食事も栄養がとれたもので美味しいです。

10 年間で自分で成長したと思うことは、生活が自立したことです。

職場でたまにストレスがあっても、親に電話しなくても、たとえば仲間とおしゃべりしたり、TV をみたりで自分で発散できるようになりました。

自分に自信がつきました。皆さんにささえてもらったおかげです。

これからもよろしくお願いします。　（ＳＤ）



僕は、ハイホーの皆と一緒にいられることがとっても楽しく思っています。これからも元気いっぱい楽しめるハイホーでいられますように。　（ＴＲ）



「ハイホー10 周年」

ハイホー10 周年おめでとうございます。そして、職員の方々毎日のサポートをありがとうございます。

10 年前は初対面の人がほとんどで緊張したのを覚えています。

今のようにダゾーンなど一人で楽しむ娯楽を用意していなかったな。

生活しているうちにそういうのも充実していき自分空間になって来た感じです。

プライベートでも知り合いの美容師がいる千葉の愛宕に一人で行き髪を切り食事をしてきました。

日帰り旅行も楽しみながらハイホーでの生活を続けていきたいです。　（ＦＹ）

職員の声

グループホームが開設して 2 週間ほど経った頃、福祉の仕事は未経験でしたが、「人と関わる仕事がしたい」という思いで入職しました。最初は分からないことも多く、一つひとつ先輩職員や利用者の皆さんから学びながら、日々の支援に取り組んできました。利用者の皆さんと共に生活を積み重ねる中で、それぞれの成長や笑顔に触れ、私自身も職員として、そして一人の人間として成長する機会をいただきました。

また、地域の皆様や関係機関の支えがあったからこそ、この 10 年を歩んでくることができました。



これからも初心と感謝の気持ちを忘れず、一人ひとりの「その人らしい暮らし」を大切にしながら、利用者の皆さんと共に次の 10 年を歩み、安心して暮らせるホームづくりを続けていきたいと思います。　（ＫＧ）



ハイホーにお世話になり、はや三年半になりました。

最初は利用者さんの大きい声が聞こえたり、急に怒り出したり戸惑いを感じましたが、なんとか慣れてきたような気がします。

職員がやれば簡単ですが、少しでも自立できるようにお手伝いしています。例えば、食事の場合では、本人が自分で食べれるように、お皿やスプーンを丁度良いところに置く。手が不自由でごはんが残ります。その時には職員がお手伝いします。

また、取って欲しいお皿は目や手で合図をするのではなく、なるべく口頭で言って頂くようにもしています。

これからも、利用者様がハイホーで快適に過ごせるように、また、自立できるように支援していこうと思います。　（ＫＳ）

もう 10 年、なんと早いことでしょう。

2016 年 2 月 1 日開所のため 1 月に入りスタッフ一同で、生活に必要な備品や、調理器具の購入、介助技術の研修など昨日のことのように思いだされます。開所の折それぞれのスタッフが願っていた思いが今も続いております。

私の日常はすべてハイホー中心です。1 人 1 人が私にとっては大切です。食材を注文する時、顔がうかびます。なかなか思うようにはいきませんが…館内の清掃も月曜日はベランダの手すり拭き各居室の窓レール拭き等、一週間のスケジュールを作り金曜日は浴室館内全体を丁寧掃除の日とし、スタッフの方々にも協力していただいております。この期に初心を忘れず頑張ってゆきたいと思います。　　（ＴＮ）



日々の業務では、ご利用者様一人ひとりの個性や思いを大切にしながら支援を行っています。生活の中で必要となる力や、社会の中で安心して過ごしていくための考え方やマナーなども、一人ひとりのペースに合わせて自然と身につけられるような関わりを心掛けています。

私自身も日々の支援を通して多くの学びや経験をいただき、人として成長する機会を与えていただいています。また、ご利用者様の小さな成長や笑顔に触れるたび、この仕事のやりがいや喜びを改めて感じています。これからも利用者様や職員の皆さんとの信頼関係を大切にしながら、一人ひとりに寄り添った支援を続けていきたいと思います。　　（MY）



「次の 10 年に期待します」

開設 10 周年を迎えることとなりました。誠に喜ばしいことであります。

開設当初は困難なことがあったと思いますが、それを乗り越えて来た、利用者さん、家族の方々、地域の方々、行政の方々、スタッフの方々の力の結集と思います。次の 10 年をどう迎えるかが大切な区切りだと思いますが、明るく健康に過ごされることを願っております。　　（ＹＳ）



ハイホーが開設して 10 年になります。10 年経ちハイホーの皆はどうしているかと言いますと、大きなトラブルもなく皆仲良く和気あいあいと過ごしております。長く生活する中で、皆がお互いの事を良くわかっているので安心して生活出来ているのかと思います。

業務においては 10 年間で全く同じという事はなく日々変化しています。私たちも全てではないですが、利用者様の事が少しずつわかってきたので、それぞれ生活に合わせて、会議や面談などで職員、利用者様、ご家族様と話し合いながら支援の内容を決めていきます。

そして 10 年という月日が流れましたが、利用者様、ご家族様からは「これからもずっとここで生活していきたい」といった嬉しい声も聞かれます。

これからも皆にとってハイホーが気持ちよく過ごせる場所であり続けられるように誠心誠意、仕事に励んでいければと思います。　　（ＹＫ）



「ハイホーで仕事をして思う事」

私のハイホー勤務は今年の 4 月から 5 年目に入りました。70 代の私に仕事が務まるかどうか当初は心配でしたが、周りの皆さんのすばらしいサポートのおかげでなんとか続けてこられました。感謝に堪えません。以前の IT 関連の仕事で医療業界も担当していたので、実際の現場体験をしてみようと思い立ちハイホー勤務を始めたのですが、新たな気付きも多く、課題点も色々と分かってきたので、とてもやりがいを感じています。

（ＹＴ）

ハイホーでは、夜勤/遅番・宿直の職員を募集しています。
ご関心のある方お問い合わせください。



<Y's コート ゆい バザールのお知らせ> ※物品寄付をご検討くださる方は、事前にお問い合わせください。

「坂下ゆい商店」の商品・中古衣料、雑貨を販売します。ご来店お待ちしています！

◆カフェ JOY　10 周年感謝バザール　　9 月 7 日（月）～9 月 11 日（金）

◆東京ＹＷＣＡ 板橋センター オープンデー　11 月 29 日（日）

◆クリスマスミニバザール　　12 月 1 日（火）～12 月 4 日（金）

<2026 年 7 月 15 日　総会報告>

出席者数：出席者 8 名、委任状 16 名＜正会員数 25 名＞　　時間：10 時 30 分～12 時 55 分

2025 年度事業報告および決算報告、2026 年度事業計画および予算を審議し、承認されました。

<2025 年度事業報告>　2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

事業名	Y's コート ゆい	Y's ホーム ハイホー
事業内容	2025 年度は、開設 9 周年を迎えた就労継続支援 B 型事業所「Y’ｓ コート ゆい」、障がい者グループホーム「Y’ｓ ホーム ハイホー」の運営に当たった。	
	発達障がい、知的障がいのある利用者(年間平均実人数 12.8 名)へ、「カフェ JOY」での作業、受注作業、自主生産品の作成作業を通して、就労に必要な支援を行った。 カフェ JOY での弁当販売の他、カフェ JOY の店先で定期的に開催したバザールや、出店したイベントにおいて自主生産品等を販売し、利用者の接客訓練及び工賃の確保に努めた。特に自主生産品については、ボランティアの指導とアイディアにより、精度の高い編み物や刺繍の製品が製作された。 利用者が就労や社会生活で必要となる技能を得ることを目的に、SST(ｿｰｼｬﾙ･ｽｷﾙｽﾞ･ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ)を行った。利用者ミーティングで準備を進め、ボウリングやクリスマス会等のレクリエーションも実施した。	身体障がい、知的障がい、発達障がいのある 7 名の入居者の生活支援に当たった。月 1 度の職員会で綿密に情報共有して支援に当たり、家族や関係機関との連携も丁寧に行った。 地震、水害等様々な状況を想定した避難訓練を定期的に行った。 デリバリーを利用した寿司パーティー等、利用者の自主的な活動が行われた。 今年も町会主催のイベントに参加し、地域との連携を深めた。
利用者数	12.8 名(1 日平均利用者数)	7 名
職員数(3 月現在)	10 名	8 名
事業費(費用)	２９，８６６	３１，６７７

募金活動のお礼

多くの方から温かいご支援を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、ご報告申し上げます。

2025 年 12 月 1 日～2026 年 7 月 31 日の期間にご寄付頂いた皆様（敬称略・五十音順）

個人			物品寄付		
浅井　春美	尾﨑　裕美子	関森　紀代子	井上ホーガン真澄	中村　紀子	渡辺　和子
石井　須美子	幸福　花江	和田　稲子	楠本　淑子	室伏　彩	
伊藤　充代	杉本　陽子	ハイホーご家族の皆様	黒田　正純	山﨑　亨	
蛯原　まゆみ	鈴木　正子	匿名	関根　喜美子	若松　三容子	

寄付金合計：　492,800 円

Y's コート　ゆいのミニバザールのために、近隣にお住いの方も含め多くの方から新品雑貨等のご寄付を頂きました。

コラム『一粒の麦』

「障害のある子ども達が安心安全に暮らせるグループホームをつくりたい」という思いだけでした。本当に多くの方からお力をいただき、支えられて実現したのが 10 年前です。20 代～30 代だった子ども達は現在 30 代～40 代となりました。親元を離れて初めて他人と暮らし新しい生活を築くことは彼らにとって大きな変化であり、寂しさも不満も衝突もあったでしょう。しかし YWCA の理念のもと職員研修がしっかりなされ、一人一人を大切にし丁寧に日々を暮らしてきたからこそ、子ども達の「ここにずっといたい」という気持ちを育んできたのだと思います。ちょうどよい距離感で仲間としての意識があることも日々の様子を見ていると感じ取ることができます。

おいしい食事を提供し、掃除が行き届いた清潔な居住スペースを維持し、子ども達の変化をすぐにキャッチし親や仕事先、福祉園などとの連携をとってくださる職員の存在は本当にありがたいです。開設当初から働いてくださっている職員さんも数名います。また、ハイホーの魅力として子ども達が意見を出し合える「ハイホーミーティング」やハイホーを応援したい「母の会」があります。皆様これからもハイホーをどうぞよろしくお願いします。

田中孝代（理事・利用者家族）